



嫌な一日

校長 尾崎 淳一



9月に入りました。竜北生の皆さんの**明るい声、元気な姿**が、学校に戻ってきました。**おかえりなさい**。左の写真は9月2日の午前中の風景です。自転車置き場には自転車が美しく並び、各教室では竜北生がテスト問題と真っ向から睨み合っているところです。まだ暑いので、もう少し夏休みが続いて欲しいのですが、ここで**やる気スイッチを「学校モード」**に切り替えて、毎日の**「竜北ライフ」**を満喫しましょう。

さて、9月は英語で**「セプテンバー (September)」**と言いますが、語源を調べてみると、ラテン語の「septem=7」であり、元々は 古代ローマ暦で**「7番目の月」**を指していたのです。**なぜでしょう？**古代ローマで使われていた暦では、一年が**3月から始まる10か月制**だったため、**「セプテンバー」は7番目の月**になります。その後、12か月制の暦が採用された際、1月と2月が年の最初に加わり、**「セプテンバー」は2か月後ろにずれた**ため、**「9番目の月」**、現在の9月となったということです。紛らわしい話ですね！

ここで**ネガティブな話題**ですが、竜北生の皆さんにとっても**「嫌な一日」**というものがあるでしょう。**「定期テストの日」**かも知れないし、**「長距離走計測の日」**かも知れません。

今、私にとって、一年間で最も**「嫌な一日」**が目の前に迫っており、もう居ても立ってもいられません。昨年度のこの時期にも同じ話題を取り上げている気がして、パソコンのファイルを開いてみました。すると、やはり**令和7年9月9日付け第24号**で、ストレートに**『人間ドックへの挑戦』**というタイトルを付け、かっこ悪いことをぐだぐだと書いていました……。しかし、今年度とは決定的に異なる点があります。昨年度は、人間ドックが済んだ後の**「軽やかな気持ち」**で気楽に書いていることです。今年は違いますよ。何しろ、**最大の危機が2日後に**迫ってきていますから。誰か、私の代わりに行きませんか？

ところで、**「人間ドック」**とは何でしょうか。「人間犬」ではありません。**「dog」**ではなく、船を点検したり修理したりする施設**「dock」**ですから、「病気の早期発見・予防を目的とした健康診断。詳細な検査により、がんや生活習慣病などの疾患を早期に発見することを目指すもの」です。教員は一年に1回の健康診断が義務付けられており、私も40歳の頃から受診しています。ここで、何が嫌なのか「ベスト7」をカウントダウンします。

- ⑦ 周りの**人々**：誰もが怖いはずなのに平静を装っています。その雰囲気が耐えられません。
- ⑥ **肺活量**測定：限界なのに、「もっともっと」と励まされ、息を吐き出します。酸欠で倒れます。
- ⑤ **血圧**測定：軽く150は突破できますね。病院は緊張するから当然ではないでしょうか。
- ④ **体重**測定：毎年、私だけ10kgほど多めの数字が示される気がします。原因は分かりません。
- ③ **超音波**検査：胸や腹にスキャナーのような器具を力強く押し付けられます。肋骨が軋みます。
- ② **採血**：「痛いですか」と聞くと、「針を刺すんですから」と優しく諭されます。怖過ぎます。
- ① **検査結果**の通知：なぜか家族は楽しみに待っていて、結果によって飲み物等が制限されます。

竜北生が定期テストを終えて喜んでいる頃、**私の憂鬱**はますます深まるのです……。

辛いこともあるから、**喜びは2倍**になります。**嫌なこと**にも負けず、**「竜北生、Go!!」**

この夏、「地震」「大雨」などの大災害が相次ぎました。海外では、氷河の崩落による土石流も発生しています。日常生活における、防災意識の向上の必要性を痛感しています。

(令和8年9月3日)